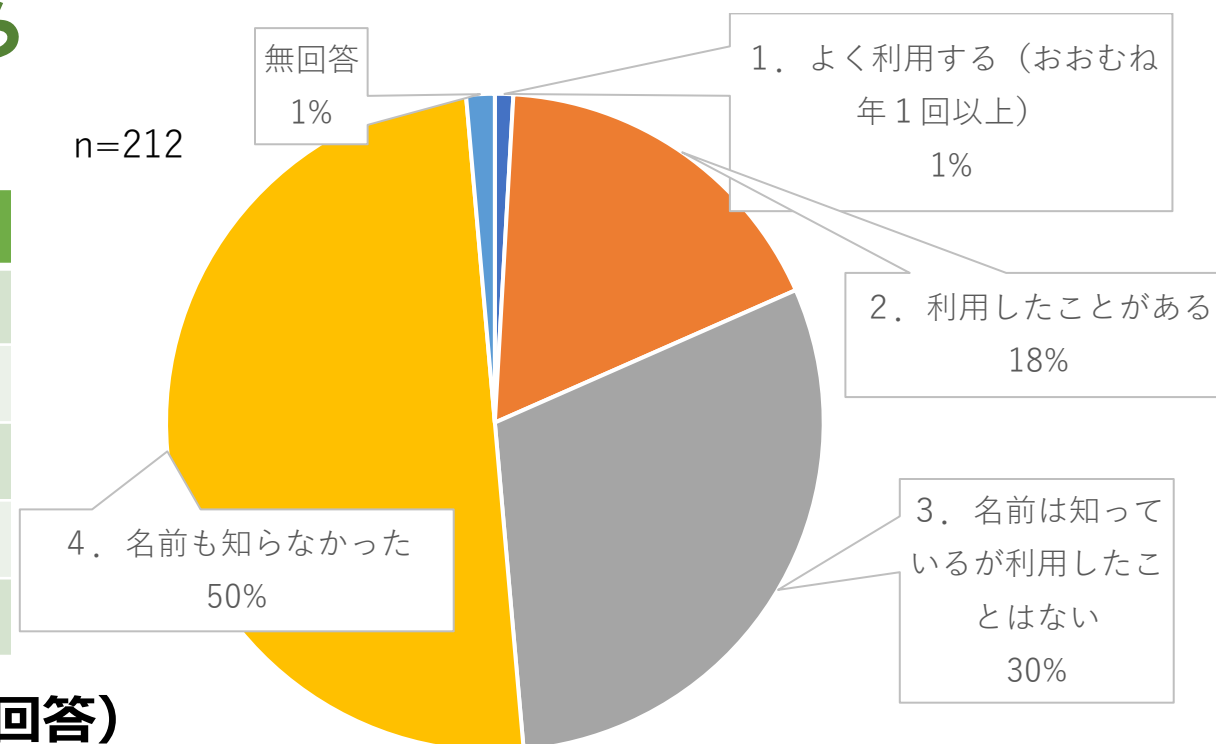


奈良市音声館 実施計画作成にむけて

文化に関するアンケート調査(2024)から

Q.音声館の利用状況について教えてください。

回答	率
1. よく利用する（おおむね年1回以上）	0.9%
2. 利用したことがある	17.5%
3. 名前は知っているが利用したことはない	30.2%
4. 名前も知らなかった	50.0%
無回答	1.4%



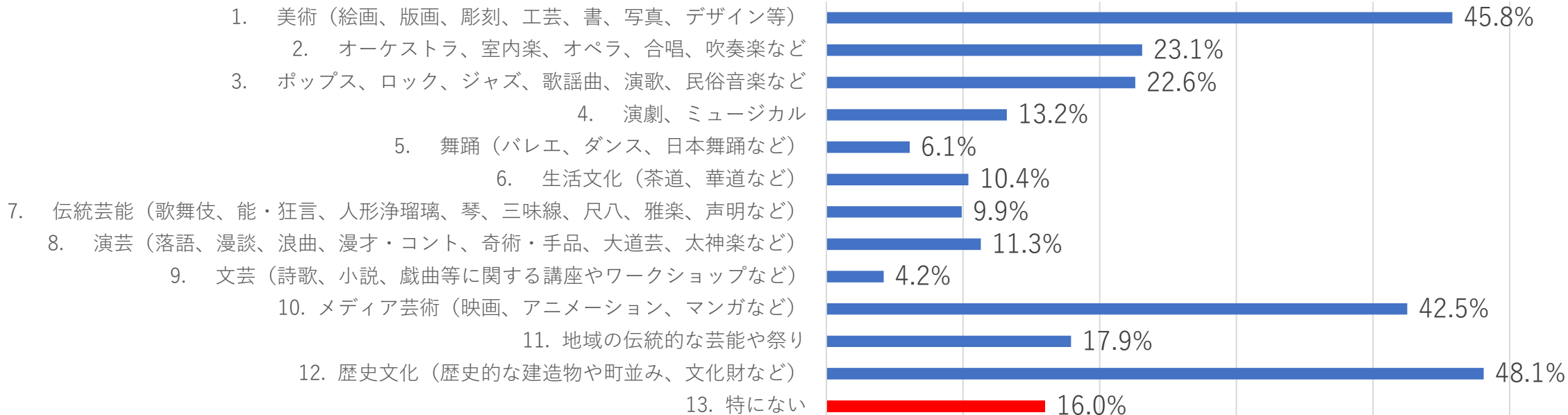
「名前は知っているが利用したことはない」の理由（複数回答）

回答	率
1. 魅力的な文化芸術イベントがないから	59.4%
2. 施設が遠い、または交通の便が悪いから	21.9%
3. 使用料・観覧料等が高いから	3.1%
4. そもそも文化に興味がないから	7.8%
その他	18.8%

その他の意見（一部）

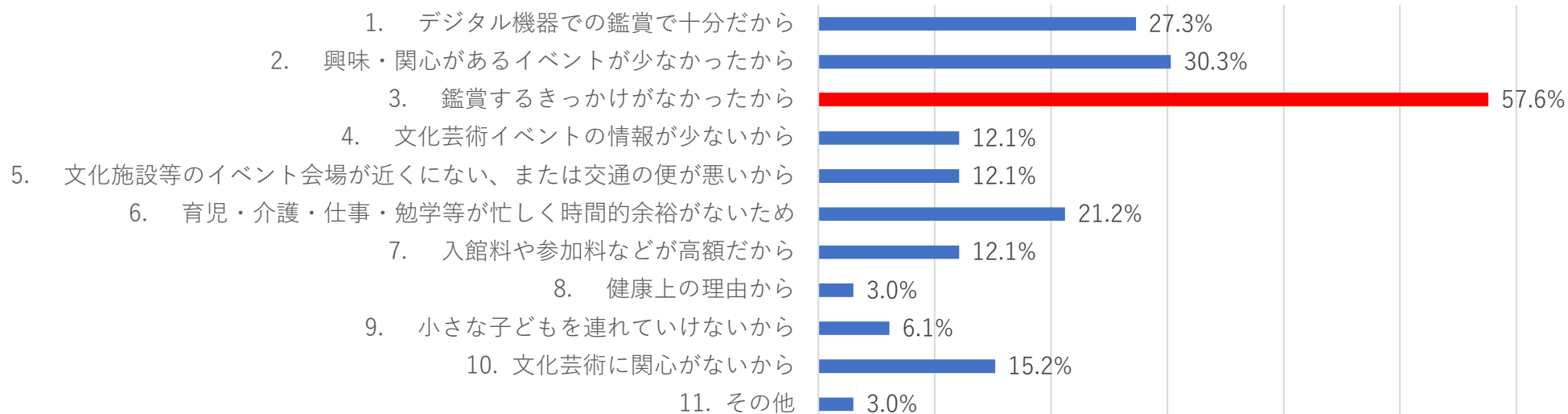
- 何の施設であるかを知らないから
- 何をやっているか分からないから
- 行くきっかけがないから
- 他の場所で充分足りているから
- 周知が届いていない
- 遠い

Q.あなたは過去1年間で、文化芸術を直接鑑賞したものはありますか。（複数回答）



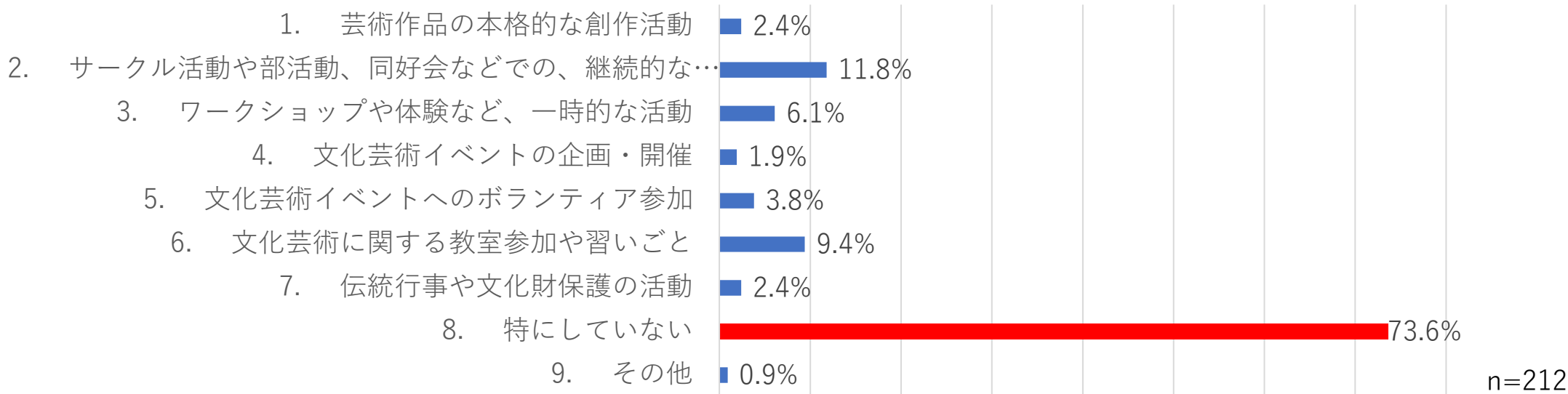
Q.（「特にない」を選んだ方）鑑賞しなかった理由はなんですか。（複数回答）

n=212

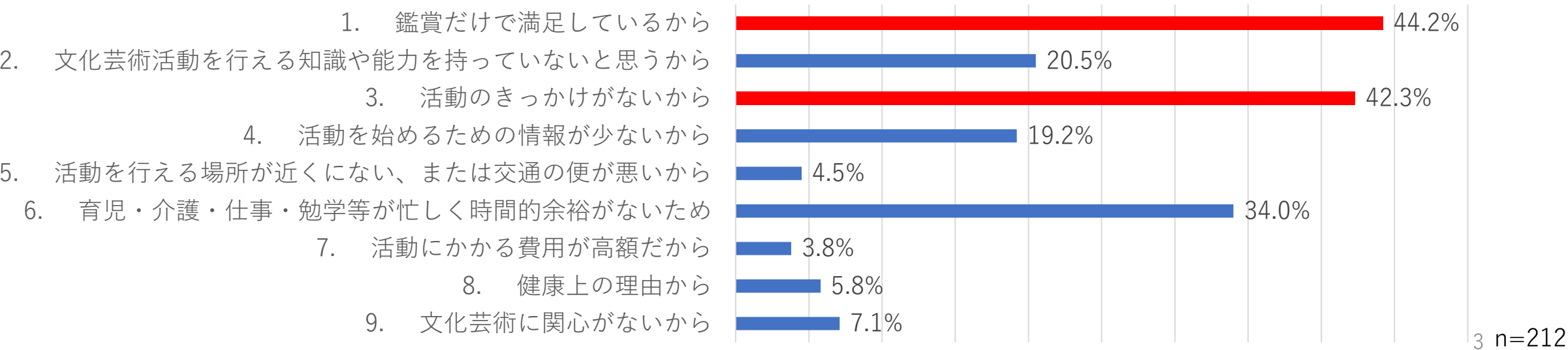


n²=212

Q.あなたは、過去 1 年間で、自ら文化芸術活動に取り組んだことがありますか。（複数回答可）

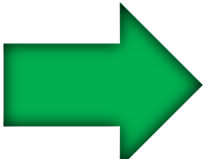


Q.（「特にしていない」を選んだ方）文化芸術に関する活動をしなかった理由（複数回答）



アンケート分析から

- 過去1年間、文化芸術鑑賞をしている人の割合は高い。
- 直接の鑑賞がない人は「きっかけがない」が大きな理由である。
- 過去1年間、自ら文化活動を行う人の割合は低い。
- 文化活動を行わないのは、「鑑賞だけで満足しているから」と「活動のきっかけがないから」

 **鑑賞、活動とも「きっかけ」が必要**

施設の目的・事業について

奈良市音声館条例

(目的及び設置)

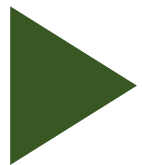
第1条

伝統的な芸能の継承並びに音楽及び演芸の振興を図り、市民の文化の向上に資するため、音声館を設置する。

(事業)

第3条 館においては、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 伝統的な芸能の継承及び振興に関すること。
- (2) わらべ歌等の調査、研究及び普及に関すること。
- (3) 音楽会及び演芸会の開催並びに市民のふれあいの場の提供に関すること。
- (4) その他館の設置目的を達成するために必要な事業



**施設の目的が限定的であり、
興味・関心を得にくいのでは？**

施設のあり方

ポイント

- 伝統文化を大切にしながら、現代的な表現も肯定的に
- 音楽や伝統芸能に限らない、幅広い分野での施設活用
- 文化による人と人のつながりにフォーカス
- 文化の持つ創造性を活かし魅力を創出し、内外へと発信
- 市民文化と都市文化を両輪として文化振興を推進

音声館 新たなコンセプト案

- 文化体験の「きっかけ」づくり
- 伝統から創造を 
- 奈良の文化的魅力を国内外へ

音声館 新たな事業イメージ



あらゆる世代にとって
芸術体験の“きっかけ”となる場



伝統文化にあふれた奈良で
新たな表現と出会う場



奈良の文化と出会うために
国内外から人々が集う場